

令和5年入込観光客総評

令和6年6月 箱根町

■ 総括

令和5年は、入国制限解除を含む水際対策を終了し、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや、旅行需要喚起策の実施がされたことで、前年を上回る結果となった。

■ 入込観光客数

19,510千人（前年比112.4% 2,150千人の増）

〔内訳〕

- ・宿泊客：3,938千人（前年比114.1% 488千人の増）
- ・日帰り客：15,572千人（前年比111.9% 1,662千人の増）

■ 影響を受けた事象

- ・入国制限解除を含む水際対策を終了したことや、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと
- ・「いざ、神奈川！」や「かながわ鉄道割」などの旅行需要喚起がなされたこと

1 宿泊客について

(1) 施設形態別

全国旅行支援「いざ、神奈川！（第2弾）」や「かながわ鉄道割」などの旅行需要喚起策の効果もあり、旅館・ホテルは3,538千人（前年比114.3% 443千人の増）、寮・保養所は363千人（前年比114.0% 45千人の増）、民宿・国民宿舎・ユースホステル・民泊は13千人（前年比172.0% 5千人の増）となり、前年より増加した。

〔内訳〕

全体的に前年より増加しているが、特に外国人観光客は、水際対策が大幅に緩和された令和4年10月からの回復傾向が続き、前年より大幅に増加した。

- ・一般客：3,570千人（前年比105.4% 183千人の増）
- ・外国人観光客：344千人（前年比827.2% 302千人の増）
- ・修学旅行者：24千人（前年比111.3% 2千人の増）

(2) 月別

入国制限解除を含む水際対策の終了や、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、前年を上回る宿泊客数となった。特に、2・3月は、全国旅行支援の効果やインバウンドの回復に加え、春休みシーズンであったことから、前年より大きく増加した。

2 日帰り客について

日帰り客について、コロナ前に近い水準まで回復することができた。公共交通機関の乗車パスが好調であり、宿泊客同様に外国人観光客の増加を受け、前年を上回る結果となった。

3 月別入込み状況について

【1月】

前半は、箱根神社への初詣や箱根駅伝の応援で賑わいがみられた。特に箱根駅伝は、3年ぶりに沿道での応援が認められたこともあり、昨年以上に観戦に訪れている観光客の姿が見られた。

【2月】

降雪により公共交通機関の運休や道路で滑り止め規制がされた日もあったが、全体的には好天に恵まれ、春休みに入った学生のグループや外国人観光客の姿が目立った。

【3月】

全国旅行支援の効果やインバウンドの回復に加え、春休みシーズンに入ったことから、連日多くの観光客で賑わいを見せていた。

また、下旬からは例年より開花が早い宮城野の桜や箱根湿生花園のミズバショウが見頃を迎え、花を見に訪れる観光客の姿も多かった。

【4月】

春休みシーズンが終了したため、日本人観光客の来訪が落ち着きを見せるなか、桜による訪日需要の高まりの効果もあり、外国人観光客の姿が目立っていた。

【5月】

ゴールデンウィークは、マスク着用や水際対策が大きく見直されて初めての大型連休となり、町内各所で賑わいが見られた。

また、ゴールデンウィーク明けは日本人観光客が落ち着きを見せるなか、前月に引き続き外国人観光客の姿が目立っていた。

【6月】

中旬以降は、あじさいが見頃を迎えたことで、団体客などツアー観光も多く見られ、観光バス駐車場も連日満車の状態が続いた。

【7月】

前半は、全国旅行支援の個人を対象とした旅行の割引適用が終了したことに加え、梅雨や猛烈な暑さの影響による出控えからか、日本人観光客の姿は少なく感じられた。梅雨明け後も厳しい暑さが続いたが、夏休みシーズンに入ったこともあり、家族連れや学生のグループが増え、外国人観光客については、ひと月を通して多く見られた。

【8月】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し初めての本格的な夏休みシーズンとなったが、ひと月を通して猛暑日が続いたことで出控えがみられたことやお盆期間中の台風の影響により、観光客の姿も少し寂しく感じられた。一方、外国人観光客については、依然として多くの姿が見られ、順調な回復が見られた。

【9月】

連休期間に賑わいが感じられたものの、ひと月を通して見てみると、夏休みが終わったことで若者のグループが減ったことや昨年と違い個人旅行に対する割引がなかったためか、国内の観光客の姿が少なかったように感じた。一方で、外国人観光

客については、国内観光客より目立っているという声が聞こえてくるほど、多く見受けられた。

【10月】

インバウンドの好調が維持されており、芦ノ湖畔や見頃を迎えた仙石原すすき草原付近では団体の観光客の姿も見られ、町内道路でも中型・大型バスを見る機会が増えたことから、団体旅行について回復が感じられた。

【11月】

ススキと紅葉が見頃を迎え、例年と比べ暖かい日が続いたことで、観光のしやすい気候だったことから、町内において連日賑わいが見られた。

【12月】

行楽シーズンが終了したことから、例年同様、国内観光客の客足は前月から減少したように感じられた。

一方、外国人観光客については、依然として増加が顕著に感じられた。

※ 最大入込月について

最大の入込みがあったのは、仙石原すすき草原や紅葉が見頃になった11月であり、次いで、夏休みシーズンやインバウンドの回復により賑わいを見せた8月という状況であった。

旅行需要喚起策について

● いざ、神奈川！（第2弾）

期間：令和5年1月10日（火）～6月30日（金）

※団体旅行については、8月31日（木）まで

● かながわ鉄道割

期間：令和5年10月1日（日）～令和6年1月31日（水）

● 箱いこクーポン2022

期間：令和4年9月1日（木）～令和5年2月28日（火）

令和5年 月別入込観光客数一覧

(単位：人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	251,163	214,282	358,110	290,050	293,185	251,598	286,193	362,338	284,430	318,444	325,743	302,820	3,538,356	114.3%
(内数：一般客)	235,281	201,384	332,902	249,177	262,842	222,363	253,784	332,680	252,896	273,869	286,796	272,511	3,176,485	104.7%
(内数：外国人客)	15,882	12,546	25,068	37,290	27,334	26,339	29,944	27,264	29,529	40,820	35,942	30,002	337,960	843.6%
(内数：修学旅行者)	0	352	140	3,583	3,009	2,896	2,465	2,394	2,005	3,755	3,005	307	23,911	110.5%
民宿・国民宿舎 ユースホステル・民泊	756	423	1,369	1,070	1,173	874	1,272	1,594	1,176	1,150	1,272	1,048	13,177	172.0%
(内数：外国人客)	157	174	441	507	503	394	472	528	418	607	545	339	5,085	587.2%
ペンション	30	37	149	62	78	41	58	84	64	85	123	107	918	52.1%
キャンプ場・コテージ	816	716	1,883	1,666	2,473	1,346	2,511	3,660	2,294	1,860	2,161	1,317	22,703	83.2%
(内数：外国人客)	35	14	46	69	75	52	114	83	37	83	111	62	781	122.6%
(内数：修学旅行者)	0	53	0	0	75	171	0	0	210	0	0	0	509	169.1%
寮・保養所	24,249	19,670	35,049	30,127	33,340	28,164	32,644	45,911	25,950	27,120	30,063	30,559	362,846	114.0%
宿泊客計	277,014	235,128	396,560	322,975	330,249	282,023	322,678	413,587	313,914	348,659	359,362	335,851	3,938,000	114.1%
(内数：外国人客)	16,074	12,734	25,555	37,866	27,912	26,785	30,530	27,875	29,984	41,510	36,598	30,403	343,826	827.2%
(内数：修学旅行者)	0	405	140	3,583	3,084	3,067	2,465	2,394	2,215	3,755	3,005	307	24,420	111.3%
日帰客	870,474	797,286	1,351,650	1,353,207	1,417,052	1,141,428	1,255,103	1,574,329	1,320,506	1,549,414	1,655,304	1,286,247	15,572,000	111.9%
観光客総数	1,147,488	1,032,414	1,748,210	1,676,182	1,747,301	1,423,451	1,577,781	1,987,916	1,634,420	1,898,073	2,014,666	1,622,098	19,510,000	112.4%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数

年	宿泊客数(人)	対前年比	対前年増減(人)
平成26年	4,606,751	97.7%	△ 110,185
平成27年	3,665,231	79.6%	△ 941,520
平成28年	4,338,824	118.4%	673,593
平成29年	4,693,513	108.2%	354,689
平成30年	4,525,879	96.4%	△ 167,634
令和元年	4,296,727	94.9%	△ 229,152
令和2年	2,788,706	64.9%	△ 1,508,021
令和3年	2,540,991	91.1%	△ 247,715
令和4年	3,450,000	135.8%	909,009
令和5年	3,938,000	114.1%	488,000

※対平成30年比 87.0% △ 587,879

(2) 日帰客数

年	日帰客数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成26年	16,583,249	102.7%	443,185
平成27年	13,710,769	82.7%	△ 2,872,480
平成28年	15,226,176	111.1%	1,515,407
平成29年	16,826,487	110.5%	1,600,311
平成30年	16,734,121	99.5%	△ 92,366
令和元年	14,663,273	87.6%	△ 2,070,848
令和2年	9,781,294	66.7%	△ 4,881,979
令和3年	10,959,009	112.0%	1,177,715
令和4年	13,910,000	126.9%	2,950,991
令和5年	15,572,000	111.9%	1,662,000

※対平成30年比 93.1% △ 1,162,121

(3) 観光客総数

年	観光客総数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成26年	21,190,000	101.6%	333,000
平成27年	17,376,000	82.0%	△ 3,814,000
平成28年	19,565,000	112.6%	2,189,000
平成29年	21,520,000	110.0%	1,955,000
平成30年	21,260,000	98.8%	△ 260,000
令和元年	18,960,000	89.2%	△ 2,300,000
令和2年	12,570,000	66.3%	△ 6,390,000
令和3年	13,500,000	107.4%	930,000
令和4年	17,360,000	128.6%	3,860,000
令和5年	19,510,000	112.4%	2,150,000

※対平成30年比 91.8% △ 1,750,000